

鄭玄から五経正義へ

中国古典解釈学への誘い

田尻健太「著」(桜美林大学非常勤講師)

A5判・上製カバー・三四〇頁・定価四、一八〇円(税込)

2026年4月刊行



儒教の聖典である「経書」は、長く愛読され、多様に解釈されてきた。その筆頭の鄭玄から、集大成である「五経正義」まで、中国古典解釈の歴史を貫くロジックを探究し、文献を読み解く学者たちの生き生きとした工夫を描き出す。

【目次】

凡例

序章 経学の世界への誘い

第一章 鄭玄は経説をどう整理したか——『駁五経異義』から

第二章 鄭玄は『春秋』をどう読んだか——『発墨守』等三篇から

第三章 鄭玄説はどう読まれたか——宗廟・路寝・明堂の議論から

第四章 鄭玄説はどう整理されたか——崔靈恩『三礼義宗』から

第五章 経学者は矛盾にどう向き合うか——『論語義疏』の同物説から

第六章 劉炫の学問はどう形成されたか——書物の流通状況から

第七章 「五経正義」はどう編纂されたか——「定本」問題から

結論 経学とは何なのか

参考文献一覧

あとがき

索引

英文要旨

ご注文は FAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

中国学

注文書		
(書店名)		
ご担当	様	冊
田尻健太 [著]	法藏館	四、一八〇円(税込)
鄭玄から五経正義へ	中国古典解釈学への誘い	
ISBN978-4-8318-5749-1 C3010		
お名前	お住所	お電話

【著者略歴】

1995年生まれ、福岡県出身。京都大学大学院文学研究科博士後期課程修了、博士(文学)(京都大学)。現在、桜美林大学非常勤講師。専門は中国思想史。主な論文に、「劉炫の学問とその書物環境」(『六朝学術学会報』24、2023年)、『論語義疏』に見える経書解釈法——同物説と問答体(『中国思想史研究』46、2025年)などがある。